

## 第66回 健康公開講座

上手に医者にかかるには

- 医者の言い分・患者の言い分 -

財団法人 防府消化器病センター

顧問 岡崎 幸紀

開催日：平成21年7月8日（水）午後7時～

会場：防府市地域交流センター

財団法人 防府消化器病センター 公益事業部

〒747-0801 山口県防府市駅南町14-33

TEL 0835-25-8707

E-mail info@hofu-icho.or.jp http://www.hofu-icho.or.jp

現在の日本の医療

「いつでも、どこでも、だれでも

診察を受けられる制度。

医療費。医療技術。」

WHO(世界保健機構)評価 No1

2

医者の言い分

上手な医者のかかり方3原則

- (1)、自分の体は自分で守る。
- (2)、いい医者を自分で選ぶ。
- (3)、治療は医者との共同作業。

3

(1)自分のからだは自分で守る

- ・ 医者は患者の状態がすべて理解できているわけではない。
- ・ 病気に関しては自己主張が必要である。
- ・ 病気の予防に努力する必要がある。

4

(2)医者の立場からみた  
いい医者

- ①、症状をよく聞いてくれる。
- ②、よく診察をしてくれる。
- ③、診断の説明が分かりやすい。
- ④、検査の必要性、くすりの副作用を説明してくれる。
- ⑤、質問に気軽に答えてくれる。

5

(2)医者の立場からみた  
いい医者(続き)

- ⑥、専門外の病気について、他の医師を紹介してくれる。
- ⑦、他の病院の紹介状もこころよく書いてくれる。
- ⑧、診断書や入院証明書を面倒がらずに書いてくれる。
- ⑨、ことば遣いや身だしなみが良い。
- ⑩、病・医院に入る前の不安な気持ちが、出るときには和らいでいる。

6

(3)治療は医者との共同作業

- ・ 治療の必要性を理解する。
- ・ 医師の治療方針を理解する。
- ・ 治療を自分で変更しない。ただし、薬の副作用を疑った際は、直ちに中止し、医師に連絡する。
- ・ 疑問は必ず説明を求める。
- ・ 日常生活に戻ることを目標とする。
- ・ 他人に良い治療が本人に良いとは限らない。

7

患者の言い分

(医師からみたいい医者の条件以外)

- ・ 待ち時間が長い
- ・ 入院しても早く追い出される
- ・ 病院職員の対応
- ・ 病院の施設

8

## 「待ち時間が長い」

- 原因 医療制度・医療費抑制  
医師不足・職員不足  
患者の集中
- 対策 医療費抑制介助  
医師・職員増員  
患者さんの自覚

9

## 医者にかかるとき

- ・ 急病・事故のとき(救急)
- ・ 症状があり診察を受けるとき(新患)
- ・ 治療や経過観察のとき(再来)
- ・ 健診・検診・人間ドックのとき

10

## 症状があり診察を受けるとき(新患)

- ・ 何科で診察を受けるか
- ・ 診察を受ける前に
- ・ 当日の朝は
- ・ お化粧は・服装は
- ・ 診察室で

11

## 受診当日は

まず保険証の確認  
紹介状があれば  
症状がいつから、どこに始まりどうなったかのメモ  
これまでの手術と病気のメモ  
絶食・絶飲・禁煙  
できるだけ素顔で  
診察しやすい衣服で

12

## 救急のとき

- ・ 何はさておき119番・指示に従う
- ・ 呼吸が無ければ心マッサージ
- ・ もっとも状況を知る人が付き添う
- ・ 保険証、診察券、飲んでる薬
- ・ 運転できる人、歩ける人は休日・夜間診療所

13

## 健診・健診・人間ドック

- ・ 診察と検査結果の信頼性
- ・ 説明が丁寧
- ・ 検査が円滑
- ・ 結果報告が早い

14

## 医師と患者に必要な意識

- ・ 国民皆保険制度は最良という認識
- ・ 医療は資本主義の中の社会主義
- ・ 医師は医の倫理の原点に立ち返る
- ・ 患者は自分のからだは自分で守る、いい医者を選ぶ、治療は医者と共同作業



国民皆保険制度の継続

15



以上です。

16